



平成 21 年 11 月 18 日

各 位

会 社 名 : 日 本 乾 溜 工 業 株 式 会 社  
代 表 者 名 : 代 表 取 締 役 社 長 内 倉 貢  
(コード番号 1771 福証)

問 合 せ 先 :

執 行 役 員 後 藤 信 博  
役 職 ・ 氏 名 総 務 企 画 部 長  
( TEL 092-632-1050)

## 「新中期（3ヶ年）経営計画」の策定について

当社は、平成 21 年 11 月 18 日開催の取締役会において、平成 22 年 9 月期を初年度とする「新中期（3ヶ年）経営計画」を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

当社は、長期に亘る公共投資額の通減や経営環境の急激な変化等、幾多の困難に直面してまいりましたが、当社の将来を見据えた発展プログラムを織り込んだ経営計画である「新3か年経営計画」（平成 19 年 9 月期～平成 21 年 9 月期）を平成 18 年 8 月に策定し、「成長過程」への移行を確実なものにするため、全社一丸となって取り組んでまいりました。

おかげさまをもちまして、平成 20 年 9 月期には、5 期ぶりとなる復配を実現することが出来、「新3か年経営計画」（平成 19 年 9 月期～平成 21 年 9 月期）も無事終了することが出来ました。

当社を取り巻く環境は、急激に変化しており、政権交代に代表されるように従来からのスタンスのままでは生き残れない状態であることは、間違いありません。

そのような経営環境の中で、急速な変化に対応し、より高い企業価値を実現するために「新中期（3ヶ年）経営計画」（平成 22 年 9 月期～平成 24 年 9 月期）を策定いたしました。

#### (1) 会社の経営の基本方針

当社は、「環境にやさしく安全な社会の創造に向けてあくなき挑戦を続ける」という経営理念のもと、新中期（3ヶ年）基本方針の主体をなすものとして、高い企業価値を実現するために、コンプライアンスの徹底を図り、CSR（企業の社会的責任）経営を実践するという企業倫理方針を最初に掲げ、企業としての企業体質の健全性の確保に向けて取り組んでおります。

さらに過去の反省から、堅実な経営姿勢で臨むとともに企業を継続させるためにも、環境の変化に耐えうる足腰の強い企業体にするを「新中期（新3ヶ年）経営計画」の骨格としております。

#### (2) 中長期的な会社の経営戦略

当社の「新中期（新3ヶ年）経営計画」では、「環境にやさしく安全な社会の創造に向けてあくなき挑戦を続ける」という経営理念のもと、土木建設、防災安全、化学品の3事業分野を中心に「堅実で足腰の強い企業体」の実現を目指しております。

土木建設事業分野におきましては、主力であります防護柵、標識・標示等の交通安全施設設置工事や法面安定・法面緑化等の法面工事等を中心に、さらにコンクリート構造物等の維持・補修を主体とするメンテナンス事業や環境関連事業にも注力してまいります。

当社が提供する価値であります「環境」に関連する事業においては、一昨年、当社の黒崎工場において開発・生産を開始した、環境配慮型新製品（透水性自然土固化舗装材：商品名「雑草アタック」）が、九州各地の自治体への納入実績ができ、また、この製品を使用した法面安定工法である地面被覆工及び地面被覆工法「マグファイバー工法」（特許取得）につきましても、九州各地の自治体において工事实績ができてまいりました。「雑草アタック」は、北九州市が実施している北九州エコプレミアムにおいて、「平成 21 年度いち押しエコプレミアム」に選定され、また、「マグファイバー工法」は、公共工事等におけるNETIS（新技術活用システム）に登録されました。

このような新商品や新工法の開発等により、既存事業の延長線上に裾野を広げてまいります。

また、防災安全事業分野につきましては、当社が提供する価値であります「安全」に関連しまして、以前より営業しておりました製造業を中心とした企業向けの安全保護具及び保安用品等の販売のみならず、官公庁や民間企業全般に対して、災害に対して備える防災用品の販売について営業を強化しております。災害発生時の非常食料や避難生活用品の入った非常持出袋をはじめ、新型インフルエンザに代表される感染症対策用マスク等や官公庁向けの防災備蓄関連商品や設備等、防災安全衛生用品の販売を強化、拡大してまいります。

当社起業の原点であります化学品事業分野につきましては、タイヤ生産時に使われるゴム加硫剤であります不溶性硫黄を製造しております。自動車業界全体は幾分持ち直してきており、海外における需要増に活路を見出すとともに、品質の向上と固定費の圧縮による採算性の向上を目指してまいります。

さらに、各地域に根ざした営業活動を推進するとともに、他社との技術力による差別化を図るため、更なる技術者の育成を目指し、お取引先様へ高品質な工事の施工・商品の提供・製品の開発に努め、今後も予想される企業間競争を生き抜いてまいります。

今後、企業価値の向上、配当の継続に向けて、全社一丸となって最大限の努力を払い「新中期（3ヶ年）経営計画」の完遂をめざしますので、皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

※添付資料：「新中期（3ヶ年）経営計画」の骨子

以 上

# 「新中期(3ヶ年)経営計画」の骨子

(平成22年9月期～平成24年9月期)

平成21年11月18日

 日本乾溜工業株式会社

## 目次

 日本乾溜工業株式会社

- ・はじめに 「新中期(3ヶ年)経営計画」の策定にあたって  
(平成22年9月期～平成24年9月期)
- I 「新3か年経営計画」の主要施策の実績  
(平成19年9月期～平成21年9月期)
  - ・主要施策に対して
  - ・計数目標に対して
- II 新中期(3ヶ年)基本方針
- III 新中期(3ヶ年)事業方針
  - 〔事業環境認識〕
  - 〔事業戦略〕
- IV 新中期(3ヶ年)主要施策
- V 新中期(3ヶ年)計数目標
  - 【損益計画】
  - 【貸借対照表計画 資産】
  - 【貸借対照表計画 負債・純資産】
  - 【キャッシュフロー計画】
- VI 新経営方針(経営理念、経営ビジョン、存在意義・使命感)

当社は、昭和14年に創業以来、平成21年7月をもちまして、創立70周年を迎えることが出来ました。これもひとえに、永年にわたり当社を支えて下さいました多くの皆様のご支援の賜物と厚く御礼致します。

長期に亘る公共投資額の逓減や経営環境の急激な変化等、幾多の困難に直面してまいりましたが、当社の将来を見据えた発展プログラムを織り込んだ経営計画である「新3か年経営計画」（平成19年9月期～平成21年9月期）を平成18年8月に策定し、「成長過程」への移行を確実なものにするため、全社一丸となって取り組んでまいりました。

おかげさまで、平成20年9月期には、5期ぶりとなる復配を実現することが出来、「新3か年経営計画」（平成19年9月期～平成21年9月期）も無事終了することが出来ました。

当社を取り巻く環境は、急激に変化しており、政権交代に代表されるように従来からのスタンスのままでは生き残れない状態であることは、間違いありません。

そのような経営環境の中で、急速な変化に対応し、より高い企業価値を実現するために「新中期（3ヶ年）経営計画」（平成22年9月期～平成24年9月期）を策定いたしました。

企業の社会的責任を果たし、コンプライアンス体制の定着を図り、「環境にやさしく安全な社会の創造に向けてあくなき挑戦を続ける」という経営理念のもと、土木建設、防災安全、化学品の3事業分野を中心に「堅実で足腰の強い企業体」の実現を目指してまいります。

## I 「新3か年経営計画」の主要施策の実績 （平成19年9月期～平成21年9月期）

### 主要施策に対して

- (1) 地元・福岡を中心とした営業強化
  - ・当社の営業基盤の中心である福岡市に、平成19年1月当社本社を移転しました。
  - ・地元の福岡地区は、土木建設事業部門の営業要員を増強し、福岡以外の地域についても、地域に密着した営業活動を推進致しました。
- (2) 明日を担う人材の確保
  - ・新卒定期採用を平成20年4月に10名、平成21年4月に3名採用を実施しております。現在、平成22年4月採用に向けて、5名の新卒者を内定しています。
- (3) 主要施策実績
  - ①平成20年9月期（第70期）に5期ぶりの復配を実施できました。
  - ②ガバナンス関連
    - ・取締役の任期を2年より1年に改訂しております。
    - ・監査役は、公認会計士、弁護士含む社外監査役の登用を実施しております。
    - ・内部統制システムの構築やコンプライアンス体制の定着を図り、第72期（平成21年9月期）より「財務報告に係る内部統制報告・監査制度」の構築及び評価を実施しております。
  - ③その他実績
    - (a) 酸化マグネシウムを固化材とした新工法（竹短繊維入り自然色防草工吹付）や新製品（透水性自然土固化舗装材）の開発しています。
    - (b) 投資関連
      - ・旧本社不動産の売却により、平成20年4月に北九州支店（現北九州本社営業部）を新築移転し、同年11月に大分支店事務所を購入移転しています。
      - ・黒崎工場周辺地域への環境対策の一環として「製造排煙処理装置」を設置しました。黒崎工場が賃借していた土地を平成20年12月に購入しました。
      - ・施工効率の向上の為、平成20年2月にエアーストライカー（防護柵支柱打込機）の4号機を取得、さらに平成21年6月に法面施工機械を取得しました。

# I 「新3か年経営計画」の主要施策の実績 (平成19年9月期～平成21年9月期)

## 計数目標に対して

計画は、平成18年8月策定の当初計画です。

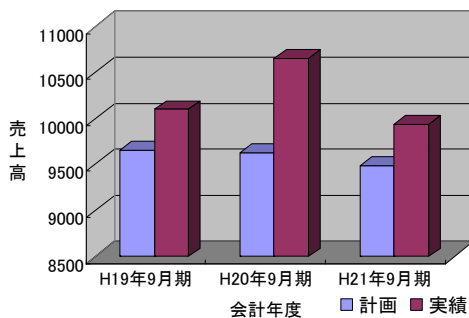
(単位:百万円)

項目	平成19年9月期		平成20年9月期		平成21年9月期	
	(計画)	実績	(計画)	実績	(計画)	実績
完成工事高	5,003	4,956	4,991	5,419	4,927	4,596
商品売上高	4,184	4,694	4,168	4,769	4,109	4,938
製品売上高	475	449	468	462	456	409
売上高計	9,661	10,101	9,627	10,652	9,493	9,944
営業利益	133	133	158	216	160	157
経常利益	110	126	139	234	145	159
当期純利益	95	109	124	219	130	173

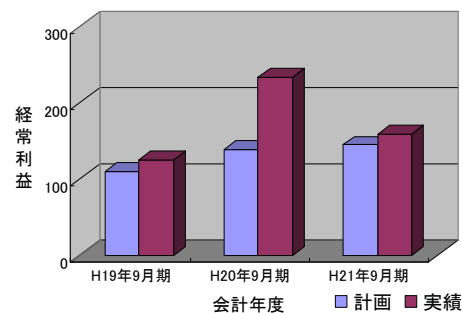
「新3か年経営計画」の事業方針にもとづき、各種施策を実行することで、経営基盤をより強固なものとし、企業価値の向上に努めてまいりました。

平成20年9月期は、平成19年9月期に受注した有明海沿岸道路関連工事をはじめとする大型工事の完工が大きく寄与いたしました。

売上高推移



経常利益推移



4

## II 新中期 (3ヶ年) 基本方針

### 企業倫理方針

### コンプライアンス・CSR経営

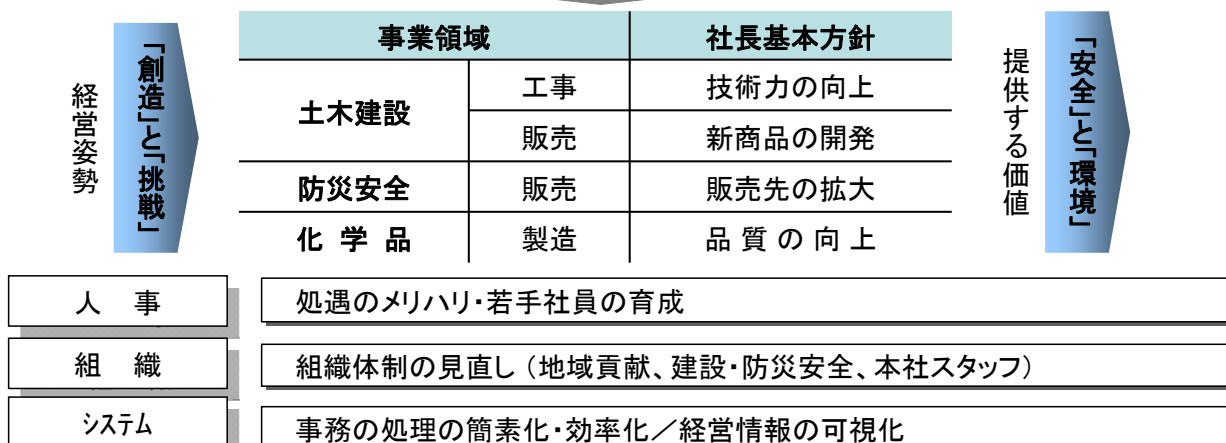
(高い企業価値の実現のため、コンプライアンス(法令遵守)及びCSR(企業の社会的責任)経営を実践いたします)

### 企業像

### 堅実で足腰の強い企業

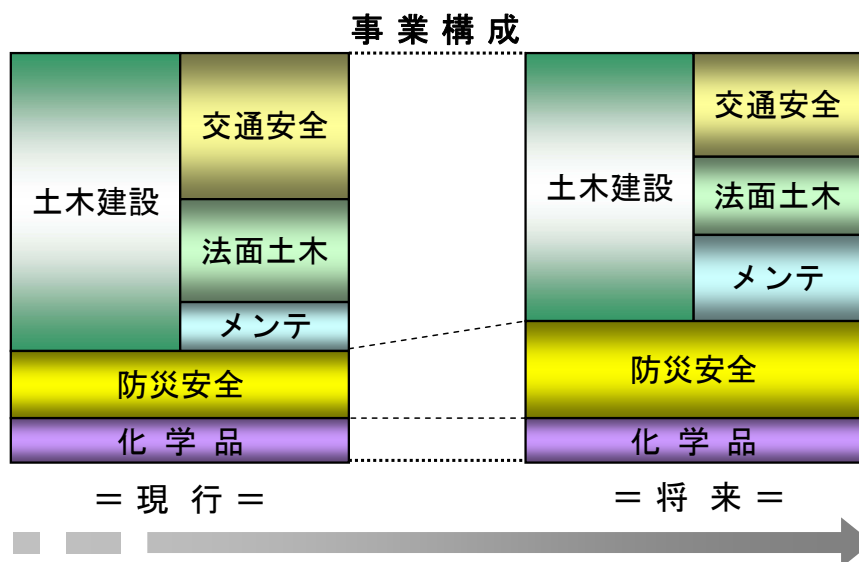
(堅実な経営姿勢で臨むとともに企業を継続させる為にも、環境の変化に耐えうる足腰の強い企業体にするを新中期経営計画の骨格といたします)

### 実現するための事業領域



5

公共投資は縮減傾向にありますが、主力の土木建設事業につきましては、既存の交通安全施設工事や法面工事等を中心に、さらに維持・補修を主体とするメンテ事業にも注力してまいります。  
 また、当社が事業を通じて社会に提供する価値である『安全』と『環境』を拡充するためにも、防災安全事業や環境関連事業にも注力し、拡大してまいります。



事業領域		基本方針	事業戦略
<b>土木建設</b>	工事	技術力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事総合評価方式の対応</li> <li>・メンテナンス関連の既存及び新工法の確立</li> <li>・当社開発「マグファイバー工法」の受注拡大</li> </ul>
	販売	新商品の開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社開発商品「雑草アタック」の拡販</li> <li>・環境関連事業への新たな取り組み</li> </ul>
<b>防災安全</b>	販売	販売先の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規営業領域への挑戦</li> <li>・新規取扱防災関連商品の拡大</li> </ul>
<b>化学品</b>	製造	品質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定費圧縮による採算性の向上</li> <li>・販路拡大</li> </ul>



マグファイバー工法



雑草アタック



感染症対策マスク



非常持出袋

◇地域に密着した営業体制の構築

◇業務の効率化・事業拠点整備 ⇒ 事業拠点の整備及び製造・施工機械の保守、取得

## 人財戦略

 人的資本の充実と戦略的配置の実施

## 財務戦略

 企業価値の向上をめざして

## IT戦略

 営業戦略を支える新システムの構築

## コンプライアンス

 企業倫理の確立  
 内部統制・コンプライアンス体制の充実強化

8

Copyright © NIPPON KANRYU INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved

V 新中期（3ヶ年）計数目標  
【損益計画】

(単位：百万円)

期 項目	「新3か年経営計画」 実績			計画
	第70期 平成19年9月期	第71期 平成20年9月期	第72期 平成21年9月期	第73期 平成22年9月期
完成工事高	4,956	5,420	4,596	5,500
商品売上高	4,694	4,770	4,938	4,500
製品売上高	449	462	409	400
<b>売上高計</b>	<b>10,101</b>	<b>10,652</b>	<b>9,944</b>	<b>10,400</b>
営業利益	133	221	157	140
経常利益	126	217	159	130
<b>当期純利益</b>	<b>109</b>	<b>220</b>	<b>173</b>	<b>115</b>

「新中期(3ヶ年)経営計画」の計数目標は、当社の主力事業であります「土木建設事業」において、前提となる公共投資動向が不明確のため、単年度のみ計画策定とし、毎年見直すものとします。

なお、平成21年10月1日付で子会社を設立しておりますが、上記は当社個別の計数目標であります。

9

Copyright © NIPPON KANRYU INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved

## V 新中期（3ヶ年）計数目標 【 貸借対照表計画 ・ キャッシュ・フロー計画 】

貸借対照表計画 (単位：百万円)

【資産】 科目	「新3か年経営計画」 実績			計画
	第70期 平成19年9月期	第71期 平成20年9月期	第72期 平成21年9月期	第73期 平成22年9月期
流動資産合計	2,761	2,691	2,648	2,557
固定資産合計	2,555	2,352	2,532	2,649
資産合計	5,317	5,044	5,181	5,207

貸借対照表計画 (単位：百万円)

【負債・資本】 科目	「新3か年経営計画」 実績			計画
	第70期 平成19年9月期	第71期 平成20年9月期	第72期 平成21年9月期	第73期 平成22年9月期
流動負債合計	2,953	2,550	2,638	2,548
固定負債合計	1,164	1,138	1,037	1,065
負債合計	4,118	3,688	3,676	3,614
純資産合計	1,199	1,355	1,505	1,593
負債・純資産合計	5,317	5,044	5,181	5,207

キャッシュ・フロー計画 (単位：百万円)

決算期	「新3か年経営計画」 実績			計画
	第70期 平成19年9月期	第71期 平成20年9月期	第72期 平成21年9月期	第73期 平成22年9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	75	257	345	74
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 52	3	△ 211	△ 209
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 37	△ 264	△ 145	123
現金及び現金同等物期末残高	659	655	644	632

この「新中期(3ヶ年)経営計画」は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって記載内容と異なる場合があります。

10

## VI 新 経営方針（経営理念、経営ビジョン、存在意義・使命感）

### 経営理念

環境に優しく**安全**な社会の**創造**に向けてあくなき**挑戦**を続ける。

### 経営ビジョン

#### □ 経営目標

地域社会に貢献し、乾溜ブランドをさらに前進させ、強固な経営基盤を構築する。

#### □ 行動指針

環境の変化を良く見極め、「**私がやる**」「**為せば成る**」の精神で、  
総社員一人当たり粗利益額1千万円を達成しよう。

### 存在意義

- お客様 確かな技術とよりよい品質の商品・サービスを適正な価格で提供する。
- 株主 信頼と期待に長期に亘って応える。(継続的な配当重視)
- 取引先 事業成長の機会をともに分かち合う。(金融機関・仕入先とともに栄える)
- 社員 満足のいく処遇(経済的価値)と働く喜び(自己実現)を創造する。

### 使命感

□**地域社会** 事業活動による価値の提供を通じて、地域社会に貢献する。